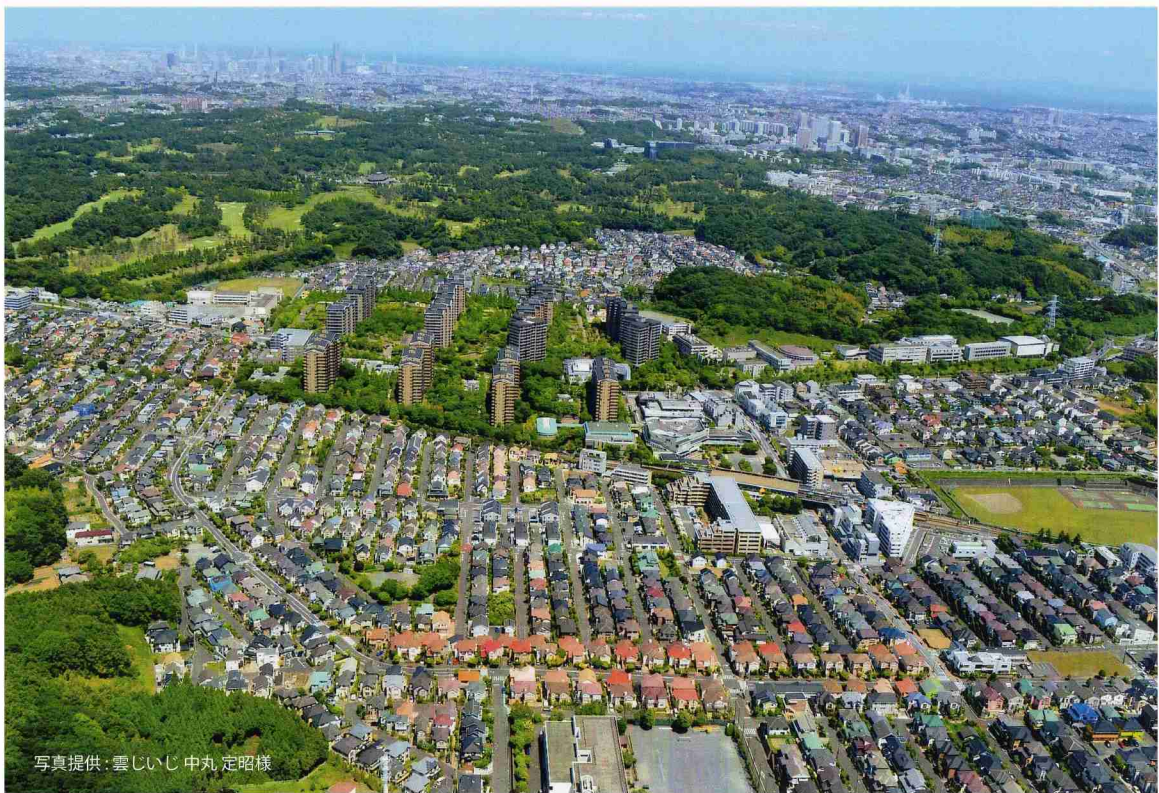


歴史とまちづくり活動の経緯

1. 緑園都市の歴史

緑園都市は相模鉄道を中心に、1974年に始まった区画整理事業(開発総面積122.3ha)を経て1987年に分譲開始された約6000戸の住宅地である。

再開発にあたって、「人間性を追及した豊かな街づくり」を基本テーマに、都市計画で有名な米国ラドバーン住宅地をモデルとして、景観や安全に配慮された街づくりが行われた。歩車分離、袋小路、入込路による通過交通の排除などを取り入れ、主要道路沿いは景観を重視して電柱が地中化され、CATVを整備してTVアンテナが露出しない配慮も行われている。住宅地は大池自然公園、戸塚カントリークラブなどに囲まれており、分譲当初より景観及び緑化に注力した、みどりの豊かな住宅地である。



写真提供:雲しいじ中丸定昭様

2. 緑園都市コミュニティ協会の歴史

緑園都市コミュニティ協会(以下RCA)は、1987年4月の分譲開始と同時に、地域住民を会員、相模鉄道を特別会員として発足した。

RCAは、緑園地区の快適で安全な居住環境の確保と、住民相互の社会的・経済的地位等の向上・促進を図ることを目的として、住宅地を一つの共有財産として捉えて維持管理する、HOA(Home Owner's Association)をモデルに、今日まで紆余曲折・試行錯誤を繰り返しながら活動してきた。

3. 緑園都市コミュニティ協会の主な活動

1) まちづくり事業

- (1) 体制強化：ワーキンググループ検討会で別途議論しています。
- (2) 緑園都市駅前の活性化：相鉄グループと共同で駅前からフェリスまでの歩道の改善、店舗等の活性化、駅前緑化推、各関連組織、住民各層巻き込んだ、あるべき駅前活性化全体像の検討を進めています。
- (3) 良好な住環境維持のため、従来から継続している「まちづくりガイドライン」に基づく景観維持を業者や住民等へ要請します。
- (4) 連合自治会、相鉄グループ、フェリス女学院大学及び関連団体と連携し、よりよいまちづくりのための課題の改善やまちの魅力を高める各種活動を推進するため検討を進めます。

2) 緑化推進事業

- (1) 多くの住民が利用する緑園都市駅周辺・集会施設などに花を植え、街の景観形成に役立たせます。
- (2) 美しい街並み維持のため、各家庭の玄関や庭先に花を植えることを目的に花の頒布会を春と秋の年2回開催します。
- (3) RCAのまちづくりの一環として「緑園花と緑の会(仮称)」を立ち上げ地域住民とともに活性化を図ります。

3) 環境整備事業

- (1) 次年度に向けた防犯カメラの増設の検討と既に設置した防犯カメラ(3か所)の維持管理に努めます。
- (2) 青色回転灯を装備した車(通称：青パト)で、緑園を定期的に巡回し、防犯活動を「緑園地区防犯パトロール協議会」と協働で推進します。
- (3) 緑園クラブハウスと緑園自治会館を連合自治会と共同運営します。

4) 国際交流

- (1) 姉妹住宅地であるラドバーンとの交流促進の一環として、緑園内の小学校との人的交流等の支援を行います。
- (2) 地域の大学、住民、各国大使館等の協力を得て外国人等によるトークサロンや各種交流イベント等の開催を通じて、住民との交流を推進します。

5) 広報活動

- (1) RCAの活動内容やまちづくりの観点で住民にとって有益となる情報発信につとめ、「RCAだより」を発行します。

- (2) 「緑えんネット」の外部委託を活用した運営体制の体制強化と運営要領の明確化し、地域各種団体等と連携した、住民のための地域情報共有基盤を確立します。